











 $(2021.06 \sim 2022.05)$

発行 2022. 11. 28 上村紙業株式会社

I. 「エコアクション21」登録状況

(1) エコアクション21、初回認証登録上村紙業株式会社、到津事業所
(認証・登録番号:0000133)2005年3月4日(2) 小倉工場移転紙器製造主要工程を小倉北区高浜に移転2017年1月6日(3) 到津事業所移転道路を隔てたフォーム工場側に本社機能移転2017年4月17日(4) エコアクション21認証更新ガイドライン2017年版2021年3月4日中間審査認証合格(有効期限:2023年3月3日)2022年5月12日

Ⅱ. 上村紙業株式会社の概要

(1)事業者名および代表者名

上村紙業株式会社 代表取締役社長 **上村篤弘**

(2) 所在する事業所 *本社・印刷パッケージ到津事業所 *小倉工場

(3)所在地

本社・印刷パッケージ到津事業所 〒803-0845

福岡県北九州市小倉北区上到津3丁目5-10

小倉工場 〒802-0021

福岡県北九州市小倉北区高浜1丁目6-46

(4)環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 畑島 久範

事務局 小倉工場 担当者 畑島 久範

電話:093-967-0100 FAX:093-967-0550 MAIL: h-hatashima@uemura-shigyo.co.jp

(5)事業内容

一般印刷及び紙器の製造販売 段ボール箱及び包材の販売

(6)事業規模

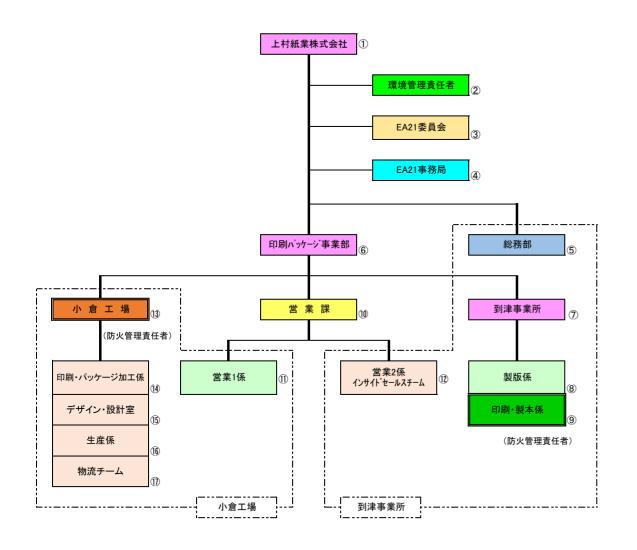
*2017年1月6日より小倉工場移転・稼働開始

汗動	規模を示す項目	年次	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
/白到	が快で 小 り 頃 口	単位	72期	73期	74期	75期	76期
主要製品生産量		t	450	441	323	294	226
 従業員		人	61	48	40	40	38
	到津事業所	m ²	2,193	2,193	2,193	2,193	2,193
床面積	小倉工場	m ²	2,170	2,170	2,170	2,170	2,170
	事業所合計	m ²	4,363	4,363	4,363	4,363	4,363

(7)認証登録の対象範囲 全組織、全活動 組織図(P-2)に示す

上村紙業株式会社 76期環境組織図(エコアクション21推進組織図)

≪2022.1.4 改訂版≫



役割分担表(本社 印刷パッケージ事業部)

2022.0	1.041	作成	

区间7月三级(不压)		2022.01.047月及
氏 名	所 属	役 割·権 限·責 任
1	代表取締役社長	全体統括、環境経営方針/環境経営目標策定、経営資源の準備
上村紙業株式会社		マネジメントレビュー開催、EMS取組状況の確認・評価・見直し
2	環境管理責任者	上村紙業のEMSを構築・運用、環境経営計画策定
環境管理責任者	(EA21委員会 EA21事務局)	外部からの苦情・要望対応、環境経営レポート作成、MRインプット
3	専務取締役	EA21委員会主宰
EA21委員会	EA21委員会	
4	印刷パッケージ事業部 生産係	環境コミュニケーションの実施
EA21事務局	EA21事務局	EA21文書と記録の作成・維持・管理をおこなう

事業部

5	総務部	本社総務部の活動実施責任者
総務部		
6	印刷パッケージ事業部	印刷パッケージ事業部の活動実施責任者
印刷パッケージ事業部		緊急事能への準備及び対応

到津事業所 製造課

7	到津事業所 製造課	到津事業所の活動実施責任者
到津事業所製造課		緊急事態への準備及び対応
8	製版係	製版係活動実施責任者
製版係		
9	印刷·製本係	印刷·製本係活動実施責任者兼到津事業所防火管理責任者
印刷•製本係		緊急事態への準備及び対応

営業課

10	営業課·営業1係, 2係統括	営業課の活動実施責任者
営業課		
1	営業1係	営業1係活動実施責任者
営業1係		
12	営業2係・インサイト・セールスチーム	営業2係活動実施責任者
営業2係		

小倉工場 製造課

③ 小倉工場 製造課	小倉工場 製造課	小倉工場の活動実施責任者兼防火管理責任者 緊急事態への準備及び対応
⑭ 印刷・パッケージ	板紙パッケージ加工係	板紙パッケーシ加工'係活動実施責任者
加工係	オフセット印刷係	オフセット印刷係活動実施責任者
⑤ デザイン・設計室	デザイン・設計室	デザイン・設計室活動実施責任者
16 生産係	生産係	生産係活動実施責任者
① 物流チーム	物流係	物流係活動実施責任者

Ⅲ. 環境経営方針

【基本理念】

私たち上村紙業は、経営理念「なるほど提供カンパニー」に掲げている通り、 地球環境との共生・調和、そして地球環境保全への取り組みを重要課題として認識し、 自ら責任を持ち、全社一丸となって環境に配慮した事業活動に取り組み、環境負荷を 継続的に削減していきます。

【基本方針】

私たちは、印刷・紙器・段ボールの設計開発及び製造に関わるあらゆる活動において、 地球環境に影響を与える課題を明確に捉え、継続的な環境負荷の低減に取り組む上での チャンスを活かし、以下の具体的な環境活動を実施します。

- 1. 環境関連の法律、規制、協定などの遵守及び社内標準の整備を行い、環境保全に努めます。
- 2. 地球環境の保全を推進するために、その責任を明確にした環境管理体制の組織強化を図ります。
- 3. 上村紙業が行う事業活動において、以下の環境経営目標を策定する項目として掲げ活動を実施してまいります。
 - ① 事業活動で発生する廃棄物の量の削減とリサイクルに取り組みます。
 - ② 事業活動で使用する電気・燃料を減らし、二酸化炭素排出量の削減に繋げます。
 - ③ 事業活動で使用する上水の削減に取り組みます。
 - ④ 事業活動で使用する化学物質の量を削減します。
 - ⑤ 事業活動で生産・提供する製品の環境負荷状況を把握し、 リサイクル可能な製品設計、省エネ型の商品の開発に努めます。
- 4. 全ての社員に対して、環境に関する教育・訓練を行い、 環境保全の意識及び能力向上を図ります。
- 5. この環境経営方針を社内外に公表します。

2018年6月1日改訂 上村紙業株式会社 代表取締役社長 **上村篤弘**

Ⅳ. 環境経営目標と実績

Ⅳ-1. 76期目標、達成状況

1.76期(2021年6月~2022年5月) 目標と実績

表-1 前々期第73期・前期第74期の実績と当期75期の設定目標ならびに実績・評価

				基準値	7 6	期	判定
	項 目		内 ·	本午世	目 標		目標値からの削減率
			負荷量	(73期75期の実績値)	・ CO2水 (73期3%削減) ・他 (75期1%削減)	実績	〇:達成 ×:未達成
二酉	俊化炭素排 出	出量	総量(kg-CO2)	207,496.9	201,272.0	179,925.7	○:達成・・・△10.6%
	電力		消費電力(kWh)	282,788.0	274,304.4	251,273.0	○:達成・・・△8.4%
	ガソリン		消費量(ℓ)	8,101.7	7,858.6	7,198.2	○:達成・・・△8.4%
	軽油 消費量 (ℓ)		消費量(ℓ)	6,006.5	5,826.3	3,628.0	○:達成・・・△37.7%
廃	棄物総排出	量	総量(kg)	8,611.0	8,524.9	7,548.0	○:達成・・・△11.5%
水道	資源投入量	<u>[</u>	総量 (m)	590.7	573.0	710.9	×:未達成・・・19.4%
化	学物質		n ーヘキサン、他 (kg)	4.24	4.20	4.10	○:達成・・・△2.4%
環均	竟対応製品	1	環境負荷低減 設計・開発提案件数	13	16	14	×:未達成···-2件

[★]CO2排出係数=0.612 : 2012年度 九州電力による実際の排出量(基礎排出量)から算出された基礎排出係数の値

2. 中·長期目標

二酸化炭素排出量、廃棄物、上水使用量について、76期の実績値を基準値として、各1%削減を 目標とする。化学物質使用量についても引き続き使用量削<u>減、環境への排出量削減を目指す。</u>

	表-2	3ヶ年(77期、78期、7	7 9 期)の目標値		実績179,923.5(排出 0.479 で換算=14€ -		
		内 容	基準値	77期	78期	79期	
	項 目	F1	──────	20 <u>22.6~2023</u> .5	2023.6~2024.5	2024.6~2025.6	
		負荷量	76期の実績値	1% 目標値 -1	% 目標値 ─1	8 目標値	
_P	酸化炭素排出量	総量 (kg-CO2)	146,504.2	145,039.2	143,588.8	142,152.9	※ 1
	電力	消費電力(kWh)	251,273.0	248,760.3	246,272.7	243,809.9	
	ガソリン	消費量(ℓ)	7,198.2	7,126.2	7,055.0	6,984.4	
	軽油	消費量(ℓ)	3,628.0	3,591.7	3,555.8	3,520.2	
廃	棄物総排出量	総量(kg)	7,548.0	7,472.5	7,397.8	7,323.8	
水	資源投入量	総量 (m³)	710.9	703.8	696.8	689.8	
化	学物質	1, 2, 4-トリメチルベンゼン他7種(kg)	4.10	4.06	4.02	3.98	
環	境対応製品	環境負荷低減 設計・開発提案件数	14	16	16	16]
社:	会貢献	板櫃川清掃(1/3か月)	4	4	4	4	
IT.	A M IN	会社周辺清掃活動 (毎月)	12	12	12	12	

※1、二酸化炭素排出係数を適正値に変更 (0.612→0.479)

★排出係数=0.479:2020年九州電力調整後排出係数

3.76期の達成状況-1

① ≪二酸化炭素の排出量について≫

76期の二酸化炭素排出量削減目標について、コロナウィルス感染症の影響による生産数量の大幅な削減を受け単純に比較できない状況下ではあるが、昨年度に引き続き基準値を73期の実績値とし、例年のチャレンジ通り1%削減/年間を掲げた。76期は、73期から3年目に当たるため、生産数量の増減に直結する、①二酸化炭素排出量、②エネルギー関係(電力・ガソリン・軽油)、③水資源投入量に関しては、73期実績の3%削減を目標値とした。

76期の実績は、表-1 で示す通り、水資源投入量以外の6項目で目標値を大きく下回り、当初は73期実績値の3%削減を数値目標として掲げていたが、消費電力・ガソリン消費量・軽油消費量を主体とする二酸化炭素排出量について、その目標値を平均で16.33%も下回る結果となった。

※二酸化炭素排出量を求めるにあたり、活動当初より二酸化炭素排出係数=0.612を元に算出していた。 この係数の値は2012年の九州電力実排出係数を採用していたことも有り、77期よりガイドラインで示された 『購入電力の二酸化炭素排出係数については、国が公表する電気事業者ごとの調整後排係数を使用する』に 適合した値で管理するためにも、2020年九州電力調整後排出係数=0.479 を採用することとした。

3.76期の達成状況-2

② 《廃棄物総排出量について》

廃棄物総排出量の合計は、目標:8,524.89kgに対し→76期実績値:7,548.0kgと976.89kgの削減となった。

75期実績値:8,611.0kgより1%削減を目標に設定・・・8,524.89kgを76期目標に設定した。

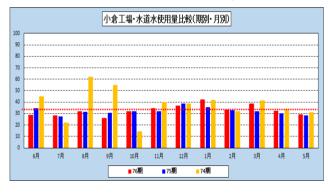
76期実績値:7,548.0kg・・・75期実績値から見ると目標値を大きく上回り12.3%の削減となった。

- *回収不可古紙の排出が合計で1,130kg、(75期実績=1,220kg)
- *廃プラ・金属排出合計で、1,455kg、(75期実績=1,435kg)
- *廃油では印刷後のニス廃液としてトータル4,783kg、(75期実績=3,420kg)
- *事業系一般廃棄物の総排出量、到津事業所93kg (75期実績=222kg) 、小倉工場87kg (75期実績=84kg)
- ★2020年10月に小倉工場で保有していた木型(顧客所有物): 2,230kgをチャーター便にて排出していたが、それが無ければ、75期廃棄物総排出量=6,381kgとなり、クリアできていたのは回収不可古紙の排出量及び到津の事業系一般廃棄物排出量の2点だけであった。75期:6,381kg⇒76期:7,548kgとなり1,167kgのオーバーとなっていた事は重く受け止めなければならない反省点と言える。

現在も溜まりつつある使用期限オーバーの木型について、取引先様の了承を得ながら、返却や自社での廃棄処分を計画的に進める必要あり。

③ ≪水資源投入量について≫

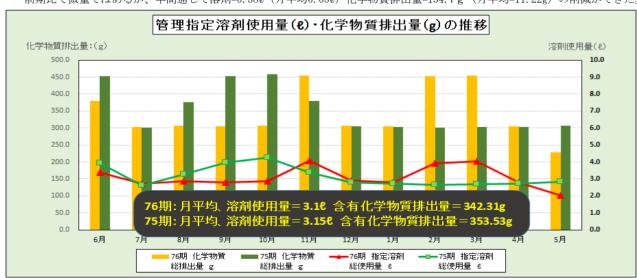
水資源投入量に関して、76期年間総投入量、目標=573.0㎡に対し実績=710.9㎡と大きく目標値を上回る結果となった。事業所別では、到津事業所=318.8㎡(目標値:156.2㎡)、小倉工場=392.1㎡(目標値:416.8㎡)と、到津事業所で大きく目標値を上回ってしまった。1月21日に到津事業所敷地内にて地中に埋設された水道管の劣化漏水事故が発生し、1月度の水道使用量が199.1㎡と年間使用量を大きく上回ってしまったことが原因。毎月の変動から異常を見出す目的で自主検針を行っていたが、一気に破裂した事により事前の発見には至らず事後対応となってしまった事が悔やまれる。事故以降、節水意識が一段と高まったか?水使用量が極端に減少した。





④ ≪化学物質について≫

前期に引き続き、PRTR法該当化学物質含有の溶剤として、①ベストキュアUVローラー洗浄液、②フレンドオイル、 ③プレートプリザーバー、④DRNドライヤー、⑤3Mスプレーの5品目を対象に使用量、含有化学物質を把握した。 前期比で微量ではあるが、年間通して溶剤=0.580(月平均0.050)化学物質排出量=134.7g(月平均=11.22g)の削減ができた。



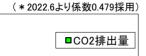
Ⅳ. 環境経営目標と実績

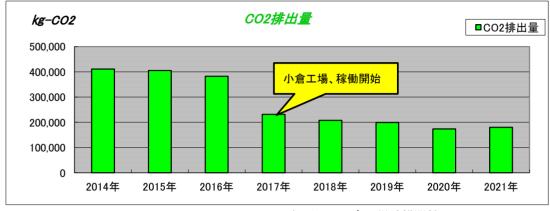
Ⅳ-2. 実績グラフ 到津事業所+小倉工場+大分営業所

(*大分営業所2016年度まで、 *小倉工場2017年1月より稼働スタート)

								単位	ī:kg-CO2
4	年度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
CO2	排出量	411,267	405,329	382,708	231,363	207,497	198,991	173,784	179,926

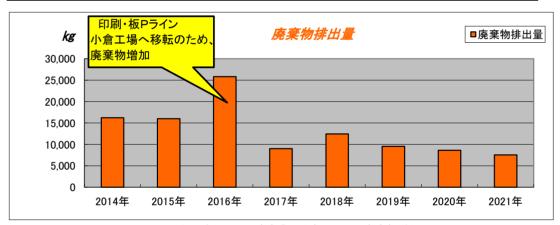
*九州電力2012年排出実係数0.612を適用





*2017年1月より小倉工場稼働開始

								単位∶kg
年度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
廃棄物排出量	16,207	16,002	25,818	9,005	12,425	9,531	8,611	7,548



*2016年小倉工場、到津事業所移転のため、廃棄物増加

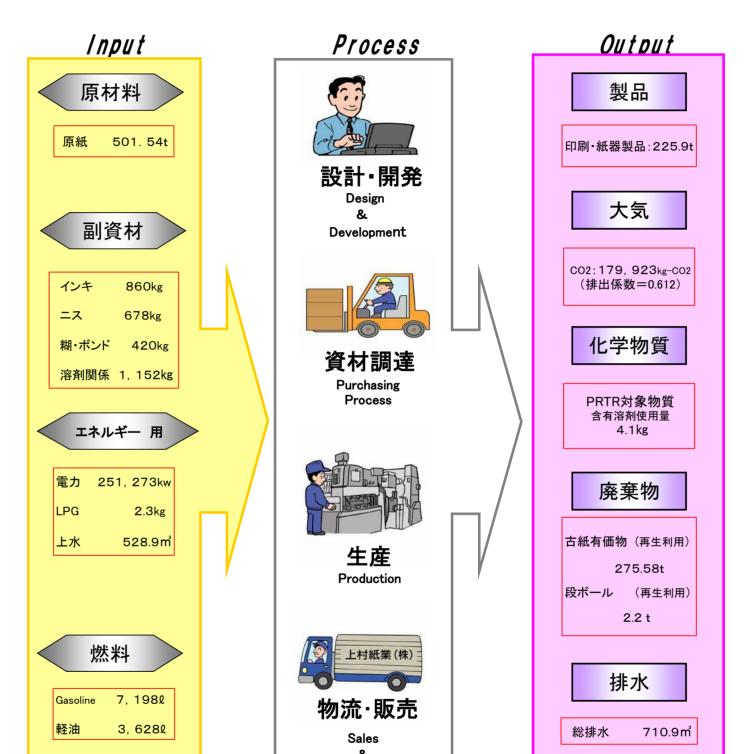
*2019年金、銀紙等、産廃から有価物扱いとなった 有価の紙くずは廃棄物の総量から控除

								単位∶M
年度	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
上水消費量	1,158	1,083	1,240	708	591	562	536	711



*2013年、2016年到津事業所、漏水事故発生。 以後水道メータ自主検針して早期発見を目指す。

_{IV-3} Material Balance



Physical Distribution

V. 環境経営活動計画と実績、評価 V-1. 環境負荷削減活動











76期(2021年6月1日~2022年5月31日)以下の取組をしました。

7,74	<u>活動計画</u>	活動項目	実績	評価				
		空調の設定温度を決める	冬季19度 夏季28度に設定					
1	電気使用量 削減 (73期実績値より3%削減)			0				
1		5 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	_ ,, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	•				
		使用量グラフ掲示						
		急発進、急ブレーキ禁止	移動通信システムで管理、発生都度報告	Δ				
2		急発進、急ブレーキ教育	発生都度報告書提出及び関係部署に周知					
	(10/31)人// (10/31)人/ (10/31)ん/ (低排出ガス車に更新	ガソリン車→燃料電池自動車に更新	<u> </u>				
	軽油使用量 削減 (73期実績値より 3%削減)	トラック保守点検	日常点検、定期点検実施					
3		配送車両減車	配送ルート見直し、重複配送減	\odot				
		効率の良い配送計画	職場長計画作製					
4	一般廃棄物 (75期実績値より1%削減)	使用済み封筒の再利用		0				
Т		使用済みコピー用紙の裏紙の利用	片面損紙集荷用トレイ製作、裏面メモ紙活用	0				
_	産業廃棄物 (75期実績値より1%削減)	ヤレ紙分別により有価物と産廃紙くずを明確に識別	分別は確実に実施された					
Э		再生不可原紙から再生可能原紙への変更促進	顧客に提案	0				
		排出量グラフ掲示	排出量グラフ掲示 見エル化					
		水道使用量の自主検針	1ヶ月ごとに水道メーターの自主検針実施	×				
6	上水使用量 削減 (73期実績値より3%削減)	水道配管の漏水検査	半期ごとに点検(点検頻度増やした)	(到津漏水事				
		使用量グラフ掲示	使用量グラフ掲示 見エル化	故)				
7	化学物質 (75期実績値より1%削減)		使用溶剤のSDS入手、関係者に配付	0				
•		PRTR法、有機則、消防法該当物質含有溶剤把握] ~				
Q	16件提案 (デザインー4件: 設計-12	技術開発室 Reduce Reuse Recycleに資する開発	技術開発:10件提案	Δ				
0	件)	企画デザイン室 Reduce Reuse Recycleに資する提案	企画デザイン室:4件提案	Δ				
	3 4 5	1 電気使用量 削減 (73期実績値より 3%削減) 2 ガソリン使用量 削減 (73期実績値より 3%削減) 3 軽油使用量 削減 (73期実績値より 3%削減) 4 一般廃棄物 (75期実績値より1%削減) 5 産業廃棄物 (75期実績値より1%削減) 6 上水使用量 削減 (73期実績値より 3%削減) 7 化学物質 (75期実績値より 3%削減) 7 化学物質 (75期実績値より 3%削減)	空調の設定温度を決める 空調装置のフィルター清掃を定期的(3ヶ月毎)に実施 デマンドコントロールによる電力消費上限管理 照明器具の点検、節電 使用量グラフ掲示 急発進、急ブレーキ禁止 急発進、急ブレーキ教育 低排出ガス車に更新 トラック保守点検 配送車両減車 効率の良い配送計画 ・ 一般廃棄物 (73期実績値より 3%削減) ・ 一般廃棄物 (75期実績値より1%削減) ・ 産業廃棄物 (75期実績値より1%削減) ・ 上水使用量 削減 (73期実績値より 3%削減) ・ アン紙分別により有価物と産廃紙くずを明確に識別 再生不可原紙から再生可能原紙への変更促進 排出量グラフ掲示 ・ 水道使用量の自主検針 ・ 水道配管の漏水検査 使用量グラフ掲示 ・ 水道配管の漏水検査 使用量グラフ掲示 ・ 水道配量の利用 ・ 水道配量の利用 ・ 大き明査・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 調変に温度を決める				

V. 環境経営活動計画と実績、評価 V-2. 環境保全活動

計画項目	活 動 内 容 と 結 果	評価
1. 組織体制の定着化	1 環境組織図改定(2022年1月4日)。	\circ
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	2 環境経営レポート(2022年11月、76期版)を作成。	Δ
	3 全社員に対して環境経営方針が記載された社員カードを配布した(2022年6月1日)。	0
	4 エコアクション21委員会定期開催(四半期ごと 7、10、1、4月)した。	\circ
2. 消防·避難訓練 到津事業所、小倉工場 1回/年	到津事業所 日時:2021年11月12日(金) 12:50~13:10 場所:印刷パッケージ事業部のフォーム棟	0
	小倉工場 日時:2021年12月15日(水) 11:45~12:15 場所:上村紙業小倉工場 資材倉庫リーチリフトからの出火を想定	0
3. 緊急対応訓練・到津(車両OIL漏れ想定)	到津事業所 日時:2022年1月19日(水) 8:50~9:15 場所:到津事業所、駐車場敷地内にて実施	\bigcirc
4. 緊急対応訓練・小倉(車両OIL漏れ想定)	小倉工場 日時:2022年1月20日(木) 16:00~16:30 場所:小倉工場、物流車両からのオイル漏洩事故を想定	0
3. 改善提案活動及び5S活動における	職場単位での潜在する環境リスクの洗い出し。省エネの推進。	\triangle
省エネ、環境対策	製造現場で職場単位の節電対策計画、実行。	\bigcirc
5. 安全衛生委員会と連携した環境活動		
①開催日:1回/月 安全委員会会議	1 全使用溶剤SDS、ICPデータ入手 PRTR法、有機則、消防法該当物質調査	\bigcirc
②安全衛生パトロール 1回/半期	2 仝上の文書管理、配付	0
③5S巡回指摘事項の改善	3 PRTR法該当物質含有溶剤 代替品の調査、変更	0
④危険物取扱の状況改善	4 有規則第1、第2種有機溶剤全廃	0
⑤有機溶剤等環境管理物質の管理	5 危険物置場および危険物の管理状況チェック	\circ
⑥潜在する環境リスクの洗い出し	6 隣接「板櫃川」「到津の森周辺」の清掃 3ヶ月ごと実施した	\circ
⑦社会貢献、ボランティア活動への参加	7 到津事業所、会社周りの側溝の清掃 各職場持ち回りで毎月励行	\circ
	8 小倉工場周辺は交通量が非常に多いため、構内清掃 2ヶ月ごと実施	\circ
5. 生産活動、品質管理活動における環境 ・エコ運動の実現	ヤレ(損紙)の削減のため、投入予備紙の削減を徹底した	0
①不良の削減	資源投入量を削減するために、不良を撲滅する活動を強化した	0
②紙くずの分類処分	生産活動で排出される損紙(紙くず)を、有価物と産業廃棄物に分別	0
③ISO9001の取得と活用	2022年7月2日の契約満了日をもって解約。 但し、品質管理のノウハウは継続。	0
6. 営業活動における環境・エコ運動	LCコートホログラムのパッケージサンプル作成 ・・・	\circ
①エコ商品の開発	プラスチックパッケージ代替の紙製クリアーファイル代替品の開発	0
②エコ商品のWeb上でのPR ③再生可能原紙へ切り替え促進	アイセールスによるweb上でのPR〜販促活動を2022年4月22日キックオフ	\circ
④環境負荷低減製品の提案	環境負荷低減製品の設計開発10件、デザイン4件、合計14件提出	\triangle

2021.06.01作成

環境経営レポート

V. 次期環境経営活動計画と実績

V-3. 次期(76期 2021年6月~2022年5月)の活動計画

目標項目		活動目標			活動項目	青任者	スケジュール										
					/ カリタロ	貝口石	-	7月	8月	9月	10月1	_	_	2月	3月 4	4月 5月	
					1	エアコンの室温温度管理(ラベル再点検、配付)	EA21事務局								\sqcup		\bot
					2	エアコンフィルターの定期清掃	各職場長						[
	2			3	エアコン室外機の洗浄	設備保全											
	=	% ****	1	購入電力の削減	4	デマンドコントロールによる電力管理	総務部				_						
酸 —	刖			5	デマンドコントロール警報対応	各職場長											
	化 I 炭 素	減			6	照明器具の管理、点検、節電	各職場長										
I		//9G			7	フォームUV印刷の効率的な計画	生産係・フォーム印刷係						[
	排	7			1	テレマティクスによる管理 急発進・急ブレーキ・速度超過運転	総務部] [
	出 量	3	2	ガソリン使用量削減	2	急発進・急ブレーキ・速度超過運転発生防止、安全指導	安全運転管理者				_						
	期	_	N 2 7 C/II SITING	3	テレマティクスによる管理 長時間アイドリング	総務部											
					4	長時間アイドリング発生防止、指導	安全運転管理者										
			3	軽油使用量削減	1	車両の保守、点検	物流係				_						
			Ü		2	エリア別集中配送推進	生産係										
	-	1 %			1	歩留まり改善	フォーム印刷係		_		_						
	発棄	削	1	廃棄物(紙くず)の削減	2	良品率改善	フォーム印刷係										
п	廃 棄 物 排	滅			3	廃棄物置場の管理	廃棄物置場担当										
	排 出	7	2	リサイクルの徹底	1	紙の分別 雑古紙、雑誌、模造紙、段ボール	各職場長										
	量	期	-	2 7 1 2 7 C V2 IRA/EN	2	コピー機リサイクルトナー使用	各職場長										
		3	3	一般廃棄物の削減	1	両面コピー実施	営業課・総務課] [] [
ш	使 用 量 量	7 3 削 2		漏水、施設不全の点検	1	設備点検、不全箇所修理	設備保全										\perp
	量道期減	期減%	2	水道メーターの検針	1	1ヶ月ごとに自主検針	EA21事務局				_		_				
使化 IV 用物量	使监	使			1	PRTR法該当化学物質 把握、削減、取扱、保管	資材倉庫、該当職場長										
	用物	削減 使用量	1	化学物質の管理	2	有機溶剤含有 把握、削減、取扱、保管	資材倉庫、該当職場長] [<u> </u>			
	里 質				3	SDS、ICPデータの完全収集、文書管理	品質保証						[
T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	貢社	着	1	地域ボランティア活動	1	板櫃川、到津の森公園周辺の清掃 3ヶ月ごと	安全衛生委員会						[
	献会	手	1	2019/01:7 × 7 1 7 10 39	2	会社周りの側溝清掃 毎月輪番制	安全衛生委員会] [<u> </u>		□ r	
VI	開設 開計 発 .	推	1	「3R」製品の開発・提案 年間13件	1	リサイクル可能製品、省資源包装材の開発	営業・技術開発室・企画デザイン室										
YI 発 ^訊	発"	進	2	紙の素材の再認識活動	1	プラスチック代替製品	営業・技術開発室・企画デザイン室				_		_				
意識 向上の	т		1	掲示物の最新化	1	環境目標グラフ、環境関連資料作成、配付	EA21事務局										
	意 ^塓 意境	着	1	TEIN A NA NA WI I F	2	掲示物の最適化 陳腐化した掲示物排除、最新版掲示	各職場長						_ [J 0			
	_	2	EA21活動への意識の強化	1	EA21委員会の開催と内容の充実化	EA21委員会									Ī		
	上の	手	3	環境リスクの洗いだし	1	安全パトロール	安全衛生委員会						[
			J	>K-75-7-7-7-704-7-C-0	2	安全パトロール指摘箇所改善	各職場長						[

VI. 環境関連法規に関する違反・訴訟・苦情等の有無 および行政への届出義務の履行

1 環境関連法規の違反、訴訟、苦情等の有無と対処について

※自社の環境関連法規として、特に周辺地域との関りが深いと考えられる、

- ①廃棄物の処理及び清掃に関する法律、②フロン排出抑制法(改正フロン法)、
- ③消防法 等々6つの環境関連法規についてその遵守状況を自己チェックした結果 違反は見当たらなかった。 また、外部からの訴訟や苦情等は受けなかった。

・廃棄物の処理及び清掃に関する法律

境

法規

・フロン排出抑制法(改正フロン法)

関 • 淮

連

・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)

・改正省エネ法

• 労働安全衛生法

2 環境関連法規に関わる行政への届出義務(または協力)の履行について

(・該当案件に対し、北九州市ホームページ 専用入力シートにて提出協力)

①「産業廃棄物管理表交付等状況報告書」の提出

北九州市環境局産業廃棄物対策室 2021年6月30日提出

②「事業系一般廃棄物の再使用または再生利用に関する実績報告及び計画書」の提出 北九州市環境局業務課 対象外

③「産業廃棄物実態調査」の回答

福岡県環境部廃棄物対策課対象外

Ⅲ. 代表者による全体の評価及び見直し、指示

		(1)	達成状況を環境負荷自己チェック表にまとめた、目標はほぼ達成できた。					
		(3)	環境関連法規は遵守されている					
	提出資料 点検結果	(4)	外部からの苦情は無かった					
評価		(6)	到津事業所、小倉工場で実施した。到津事業所の油漏れ対応訓練が未実施だった。					
		(7)	廃棄物置き場の産業廃棄物保管場所掲示板を更新した。					
	環境経営システ ムが有効に機能 しているか	環境経営目標を達成するための活動が有効に機能している。						
		(1)	二酸化炭素の排出量は大幅に削減できたが、コロナ禍によるインバウンド需要の大幅な減少を受けた生産減により、工場の稼働が下がった影響が大きい。					
		(2)	廃棄物の排出量は削減目標を達成できたが、生産減による影響が大きい。					
	活動の評価	(3)	到津事業所、駐車場下の埋設水道管破裂による漏水事故の影響を受け目標未達。					
		(4)	化学物質は、削減目標を達成できた。					
		(5)	環境負荷低減につながるデザイン、設計の取り組みも設計ネタで尻すぼみとなり未達。					
	環境方針	環境方針 (1) 77期も現行の環境経営方針を継続する。						
変更の必要性 と指示		(1)	二酸化炭素排出量、上水使用量、廃棄物排出量ともに、76期実績の1%削減を目標とする。					
CHA	来期目標及び	(2)	化学物質の使用量は極少量にとどめているが引き続き削減・代替に努める。					
	活動計画	(3)	非常事態時の訓練では、地震や津波(高潮)等の自然災害を想定した避難訓練を導入する。					
		(4)	環境に配慮した製品の開発や提案目標は、設計(1件/月)、デザイン(1件/3ヶ月)、計16件とする。					
	環境マニュア ル・規定等	(1)	特に問題なし。					
	実施体制	(1)	組織図の見直し。					